

## 地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 ( 3 8 )

団体名	(特非)シミンズシーズ	代表者名	(職名) (氏名) 代表理事 阪口 努
事業名	「遊び」を通じて地域の関わりあいを育む “かわのまちまちあそび事業”		

### < 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」 「毎〇曜日」等で記入</small>	場所	参加者  <small>一般 (スタッフ)</small>	活動内容  <small>(勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記</small>
2025年 8月26日(火)	東播磨生活創造センター 「かこむ」多目的パフォーマンススペース	95名  (15名)	ものづくりワークショップと室内遊びの回 協力団体：こどりーむ、木のおもちゃころころ、他2団体 木のおもちゃやボードゲーム、工作ブースなどを展開
2025年 11月2日(日)	ベルデモール商店街	350名  (20名)	かわのまちまちあそび 協力団体：ゆるり家、のぞえプレーパークのこのこ他 駅前商店街の道路を活用して3エリアの遊び場を展開
2025年 11月16日(日)	加古川まるいビル3階	36名  (3名)	～多世代・多属性があつまる場のつくり方～ 東播磨遊び場づくりフォーラム2025(研修会) 講師：はっぴーの家ろっけん代表 首藤 義敬氏
2025年 12月26日(火)	東播磨生活創造センター 「かこむ」多目的パフォーマンススペース	81名  (3名)	クラフトや伝承遊びを楽しむクリスマスの回 協力団体：伝承遊び倶楽部、こえのとびら、カリンバの会 伝承あそび、絵本の読み聞かせ、カリンバ演奏体験など
2026年 2月21日(土)	かわのまちリビング	7名  (2名)	かわのまちまちあそび振り返り交流会 協力してくれた団体、ボランティアやあそび場作りの活動に興味がある人と振り返りとこれからを考えるワークショップを実施

### < 効果と成果 >

多様な世代が参加しやすい長期休暇を中心に地域交流型のあそび場「かわのまちまちあそび」を年3回開催し、延べ526名の来場があった。園児や地域の未就学児、小中学生や保護者に加え、シニア世代、学生ボランティア、療育施設関係者、地域団体などが参加し、世代や立場を越えて交流する機会を創出した。あそびを通じた自然な関わりの中で、来場者が遊ぶ側にとどまらず、遊び方を教えたり道具の準備を手伝うなど、来場者自身が主体となってあそび場面も見られ、来場者が場づくりの一端を担う関わりが生まれた。さらに、遊び場の中では大人同士が自然に声を掛け合い子どもを見守る場面も見られ、地域に広がってほしい見守り合いの姿が生まれていた。地域団体が企画や準備段階から協働で関わることで、相互の活動や想いを共有する機会となり、継続的な関係性の構築につながった。また、研修会や振り返りの機会を通して活動の意義を共有し、東播磨地域であそび場づくりに関心を持つ団体や個人同士のつながりを生み出し、今後の活動について話し合うなど実践につながる基盤づくりに寄与できたと考える。

### < 今後の展望 >

今回の取り組みでは、企画段階において学生ボランティアと地域団体が十分に関わる機会を設けることができなかった。

今後は、企画づくりの初期段階からボランティアも参加できる場を設け、地域団体とより関わりを持てるプロセスの構築を目指す。

振り返りやアンケートでは、今後も参加したい、企画をやってみたいという声が多く見られた。こうした声を単なる参加で終わらせるのではなく、次の活動や主体的な企画へと発展させていくための継続的なコーディネートをも今後も取り組んでいく。

地域の中で日常的にあそび場や居場所が生まれていく流れをどのように育てていくかは課題である。

地域団体や住民が主体的に場づくりに関わることができる仕組みや関係づくりを、引き続き進めていきたい。

### < 収支決算書 >

#### (収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	500,000
参加費収入等	49,313
合 計	549,313

#### (支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	人件費	347,584	330,000
	旅費交通費	7,090	7,000
	消耗品費	48,969	48,000
	その他(謝金等)	115,670	115,000
	小 計	519,313	500,000
間接経費(一般管理費)		30,000	0
合 計		549,313	500,000